

世界初、太陽光エネルギー船が出帆
日本郵船、新日本石油共同プロジェクト



日本郵船



新日本石油
Your Choice of Energy

記者各位

日本郵船株式会社(本社:東京都千代田区、社長:宮原耕治)と新日本石油株式会社(本社:東京都港区、社長:西尾進路)が共同開発した、太陽光エネルギーを動力源の一部とする自動車運搬船「アウリガ・リーダー」(6万213トン)が、12月19日に竣工し神戸より出帆いたしました。

出帆に先立ち、本船のデッキ上で、トヨタ自動車の張富士夫会長をご来賓に迎え、日本郵船会長の草刈隆郎、新日本石油会長の渡文明の立会いのもと、太陽光パネルの通電式を開催いたしました。「通電開始」の合図にあわせて、3会長が一斉に通電スイッチを押すと、デッキ上に設置された328枚の太陽光パネルが発電を開始したことが確認されました。

日本郵船と新日本石油は、航海中の過酷な環境でも、船舶推進動力へ安定した太陽光発電の電力供給実現のため、本船にて実証実験を行うことしております。今後、約2年間、塩害・風圧・振動下での耐久性と、太陽光発電と船舶電力系統との連系を検証し、太陽光エネルギー船の実用化を目指します。

両社は、地球温暖化の抑制に向けて、今後も、自然エネルギーの研究開発、技術革新を進めて参ります。

<本船「アウリガ・リーダー」概要>

全長: 199.99m 最大積載自動車台数: 6,200台
全幅: 32.26m 載貨重量トン数: 18,758トン
型深: 34.52m 総トン数: 60,213トン
建造: 三菱重工業株式会社 神戸造船所

別添資料  [太陽光エネルギー船 通電式および出帆の様子](#)(PDF:136.3KB)